

第2回

大人になるとどうなる?

学習時間

40分

学習日

月

日

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

私はさまざまな国に講演に招かれたりして、若い人たちと話し合う機会がある。そこでおのづから比較することになるが、

① 日本の学生や十代の若い人たちは、諸外国の同年代の人たちにくらべて、一般にかなり幼く感じることが多い。表情や態度もそうだが、たとえば質問である。話していて、「何か質問はありませんか?」と言おうものなら、アメリカ人とかフランス人とかの学生たちは、ここを*先途と質問だけでなく自分の意見を言いはじめめる。アジアでも韓国の学生など、積極的にハキハキと質問する。日本だと大人はちゃんとしゃべるが学生や十代の青年たちに重い口を開かせるのには苦勞する。

② とはいえ私だって、大人ときちんと話し合うことが大の苦手の少年時代を過ごしてきたのだから、大きな口はきけない。われわれの社会では、大人から言われることを「ハイ、ハイ」と聞いていけば素直ないい子だと言われ、主張を通そうとする「文句が多い」とかいつてきられる。(A) 大人と話す訓練ができておらず、あらたまつてさあ自分の意見を言ってみる、などと言われると、「意見なんてないよ」とまごついて往生してしまう。

しかし、人間、*情理かねそなわつた自分の意見を言えなければ大人じゃない。

さて、大人になるといふことはどういうことか。

まず、あいさつやお礼の言葉などを、必要なときに必要なだけ、きちんと言へること。

③ あいさつや礼儀がきちんできるといふようになったとき、たぶん君は、親、教師、さらには広く社会に対するあまえから、*だつきやくしようとする自覚を持つようになってはいるはずだ。まあ、口先やうわべの態度だけ立派で本心はぜんぜんちがうという人間もいるし、大人たちの全く形だけのあいさつや、ひくつさやごうまんさがむき出しのあいさつなどを見ているとうんざりして、あんな大人になんかなりたくないという気持ちにもなるだろうが、まず態度からきちんを整えると、③ 気持ちそれぞれについてくるということもあるのだ。だから形式をバカにしてはいけない。

大人にきちんとした態度をとり、礼儀正しく筋の通つた話し方をしようとするといふことは、相手から何かを察してもらおうとあまえたり、察してくれなきや口もきいてやらないぞとすねたりする子どもっぽいやり方をやめて、大人たちと一对一の人間同士として向き合うといふことだ。説明して分かつてもらえらることと分かつてもらえないこと、受けいれてもらえないことともらえないこととの区別をきっちり受け止めて冷静に考えることができるようになれば、とりあえず、それで大人だ。

*先途 大事な分かれ目。

*往生 どのようにしようがなく、困り果てること。

*情理 人情と道理。

*だつきやく ぬけ出すこと。のがれること。

今回の問題文

大人になるとは、どういうことだろう。

① ①、日本の若い人たちについて、筆者はどのような点に幼さを感じているのですか。諸外国の同年代の人たちとのちがいを明らかにしながら書きなさい。

② ②の意味として適切なものを次の中から一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア 本当のことは言えない。
イ はっきりと言葉にできない。

ウ うそをつくことはない。
エ えらそうなことは言えない。

③ (A) に適切なものを次の中から一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア しかし イ なぜなら
ウ だから エ あるいは

④ ③、「気持ちそれぞれについてくる」とはどういうことですか。③より前の言葉を用いて書きなさい。

⑤ X、大人になるといふことはどういうことなのか、筆者の考えとして適切でないものを次の中から一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア あいさつやお礼の言葉が必要なときに言えること。
イ 自分の気持ちを察してくれない人とは話さないこと。
ウ 状況を冷静に判断しながら自分の意見を言えること。
エ きちんとした態度で筋の通つた話し方をすること。

佐藤忠男 『大人になるといふこと』

岩波書店刊

答えは「答えと考え方」